

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5 年 11 月 20 日

阿見町議会議長 平岡 博 様

阿見町議会議員 海野 隆

令和 5 年第 4 回阿見町議会定例会において、次の事項について質問したいので通知します。

質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
<p>JR 荒川沖駅を「阿見駅」あるいは「阿見荒川沖駅」に駅名を改称することに取り組む考えはないか</p>	<p>阿見町は JR 駅のみならず民営鉄道の駅も所在しない自治体である。</p> <p>JR 荒川沖駅は 1896 年（明治 29 年）に開業している。開業当時は旧朝日村に所在した駅で、1948 年（昭和 23 年）にその一部が土浦市と合併した際に、JR 荒川沖駅が所在していた部分が土浦市に所属したことで現在に至っている。</p> <p>茨城大学阿見キャンパス、茨城県立医療大学、茨城県立並木中等教育学校、常総学院中学校・高等学校、茗溪学園中学校・高等学校などの学校や産業技術総合研究所など筑波研究学園都市の研究所、さらに「あみプレミアム・アウトレット」「イオンモールつくば」へのバスによるアクセス駅でもあり、通勤・通学・利用客も多い。</p> <p>かつては土浦駅から阿見町まで常南電気鉄道があり、旧軍の物資輸送のために荒川沖駅からの引き込み線も通っていた。</p> <p>阿見町に JR 駅が所在しないことは、首都圏や全国における知名度や交通利便性の面で不利となっていること、不利となっていると思われることは否めない。</p> <p>茨城県内では、2020 年（令和 2 年）3 月、JR「佐貫駅」が「龍ヶ崎市駅」に改称した例があった。駅名改称により、龍ヶ崎市の存在や位置を全国に知らせることができ、また、市の玄関口として、龍ヶ崎市の魅力や特色をアピールすることができるという理由だった。これにより、市外からの観光客や移住者、企業などの関心や訪問が増えると試算されていた。</p> <p>私は、市制施行に合わせて、この際、JR 荒川沖駅を「阿見駅」あるいは「阿見荒川沖駅」に駅名を改称する取り組みを行うべきだと考えるが、執行部の考え方を伺いたい。</p> <p>以下質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, JR 駅が所在することで得られるメリット、逆に所在しないことで不利になると思われるデメリットはどのようなものが考えられるか</li> <li>2, JR 駅の名称を変更する際の手続きや費用負担にはどのようなものがあるか</li> <li>3, 駅名改称による経済効果及び費用対効果はどの程度だと思われるか</li> <li>4, 市制施行をにらんで JR 駅名の改称に取り組む考えはないか</li> </ol>	町長

令和 年 月 日受領・受付番号

※ 質問の趣旨は、できる限り具体的に記入願います。

※ 電話・FAX等により申し込みはできません。